

令和5年度 茅ヶ崎西浜高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
公務外非行等に係る不祥事の防止のための法令遵守・服務規律の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・教育公務員として適正かつ着実に業務を履行するとともに、法令の遵守を心がける。 ・職員同士の声掛けや、傾聴するコミュニケーション能力を高めることで職員間の同僚性の醸成をはかり、公務外非行の未然防止に努めるとともに、職場ストレスの軽減を図る。 	<p>○目標を達成することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不祥事防止のために全職員を対象とした個別面談を通して意識啓発を行うとともに法令順守の意識も深化させた。ストレス軽減のための管理職及び相互の声掛けも積極的に行った。 ・7月に校内で作成した「事故・不祥事防止自主点検シート」を使用し職員の注意や意識を喚起した。 ・8月に職員啓発資料を用いた研修会を開催した。
職場におけるハラスメントの防止	常にハラスメントを意識した行動を促し、互いの人権に配慮し尊重することで、パワハラ・マタハラ等の行為を未然に防止する。	<p>○目標を達成することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理職による定期的な個別面談を実施し、未然防止に努めた。 ・不適切な行為を受けた際の校内相談体制を周知し、組織的に対応するように努めた。 ・5月及び1月に具体的事例を示した研修会等を実施し、ハラスメントへの理解を深めるとともに、教職員の当事者意識を向上させた。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	常に人権に配慮し尊重することで、わいせつ・セクハラ行為を未然に防止するとともに根絶する。	<p>○目標を達成することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の連絡先の適切な収集方法及び連絡方法についてのルールを徹底した。また生徒に対しても、携帯電話等による教職員との連絡について、適切な方法をとるよう注意喚起を図った。 ・教科準備室や部室については密室化しないような環境の整備や管理職による定期的な巡視を行った。適切な利用に努めるよう教職員への意識啓発を図った。 ・生徒に対してスクールセクハラ等の理解を深めさせるとともに、教職員等から不適切な行為を受けた際に相談を受ける体制を周知して、組織的に対応した。 ・5月に啓発資料を活用し、職員及び教育実習生に対して研修を行った。また、映像資料を活用し、2月にわいせつ事案をはじめとした不祥事防止に向けた校内研修会を実施した。

<p>体罰・不適切な指導の防止</p>	<p>生徒の人権を尊重する姿勢を徹底し、体罰や不適切指導の発生を未然に防止する。</p>	<p>○目標を達成することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が安全にかつ安心して学校生活を送るために、教育相談体制の充実を図った。 ・各学期に、全生徒を対象に人権・いじめに係るアンケートを実施した。また、かながわサポートドックの運用を行った。それらの結果に基づいて、適切に対応した。 ・7月に職員啓発資料を用いた研修会を開催した。 ・2月の人権教育校内研修会を実施し、生徒個々への適切な対応を行うことを確認した。
<p>入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・成績処理、通知票、進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故を未然に防ぐ。 ・入学者選抜業務に係る事故を起こさない。 	<p>○目標を達成することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験作成から成績処理、進路関係書類の発行、生徒指導要録の作成までのマニュアルを作成し、適切な事務処理の徹底を図った。事務処理においては複数の教員で行う体制を徹底した。成績に関する点検は全教員が一斉に行った。また、6月に職員啓発資料を用いた研修会を開催した。 ・調査書作成については、7月中に「調査書作成マニュアル」をもとに、進路支援グループ・3学年で確認を行い、複数教員によるチェックを行った。 ・「入学者選抜業務の手引き」を事故防止の観点から精査して1月までに作成し、全職員で丁寧に業務を確認しながら計画的に遂行した。 ・採点・点検における留意点、誤りやすい点をまとめ、具体的な対策を「入学者選抜の手引き」に記載し、これを徹底した。 ・1月に入学者選抜業務の不祥事防止研修会を行った。
<p>個人情報等の管理、情報セキュリティ対策</p>	<p>個人情報の適正な管理と運用により、個人情報の紛失・誤廃棄・誤配付・誤送信などの事案を未然に防止する。</p>	<p>○目標を達成することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月に管理台帳を作成し、携帯電話内の個人情報の適正な管理と運用を行った。「個人情報校外持出許可願い」により、持ち出しの際の届出の徹底を図った。 ・年間を通じてUSBメモリースティックの取り扱い方法について確認を徹底した。 ・教務手帳の保管場所を決めて一元的に管理した。 ・シュレッダーの使用禁止時期を定めるなど、試験問題の誤廃棄を防止した。 ・4月及び9月に職員啓発資料を用いた研修会を開催した。
<p>交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通規則の遵守</p>	<p>交通事故、酒酔い・酒気帯び運転の発生を未然に防止する。</p>	<p>○目標を達成することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員啓発資料を用いた交通事故防止に係るチェックを行うとともに職員の法令順守の意識を深めた。 ・11月に職員啓発資料を用いた研修会を開催した。
<p>業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）</p>	<p>業務執行において、協力体制を確認し、働き方改革と事故防止を図る。</p>	<p>○目標を達成することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の適切な共有を図り、保存・継承に努め、業務の効率化を推進した。 ・点検マニュアルやチェックリストに基づく相互チェック体制を確立した。

会計事務等の適正執行（公費、私費、備品管理等）	適正な経理処理を行い、公費・私費の会計上の事故や不祥事を未然に防止する。	<p>○目標を達成することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月中に私費会計基準について全職員に周知し、適切な会計処理を行った。 ・予算を確認し、計画的な物品等の発注、確実な納品確認を徹底した。 ・私費会計について、諸帳簿の調査を定期的に行い、学校徴収金運営協議会に報告した。 ・10月に職員啓発資料を用いた研修会を開催し、年度末に向けて、再確認を行った。
県民対応の基本の再確認	県民（県民・生徒・保護者・来客など）に対し、教育公務員としての自覚を持った対応の基本を再確認する。	<p>○目標を達成することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話対応、来客対応の基本ルールを徹底した。

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

令和5年度は、わいせつ・セクハラ行為の根絶を念頭に、日常からの注意喚起を行うとともに校内施設の「死角」のチェック継続的に行った。気づいた点はすぐに改善し、課題について声を上げる重要性を共通認識できた。また、「神奈川県公立学校教職員の倫理に関する指針」カードも身に付けることを促し、高い倫理感を持って行動することを徹底した。

会計事務の適正執行を徹底するために研修資料を活用し、担当者だけでなく職員全体で事務処理基準の再確認を行い、適正な執行について指導した。その結果、適切に執行ができています。

情報セキュリティに関しては、職場環境の整備を行い、校内研修を通し職員の理解を深めることにつながり、事故不祥事の発生はない。

令和6年度も継続して「わいせつ・セクハラ行為の根絶」を重点目標とし、不祥事防止に努める。また、次の点についても徹底する。

- ・試験・成績処理・調査書を含む個人情報管理の徹底
- ・ハラスメントを常に意識しての行動
- ・教育公務員としての規範意識を根付かせること
- ・職員間の同僚性の醸成

その他の点についても啓発活動や研修を定期的に行い、日頃から不祥事ゼロに真摯に取り組む所存である。